

宇都宮市立宝木小学校第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	81.5	82.0	78.9
	書くこと	84.3	71.5	67.4
	読むこと	53.0	54.6	52.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.9	61.7	58.1
観点	話す・聞く能力	81.5	82.0	78.9
	書く能力	84.3	71.5	67.4
	読む能力	53.0	54.6	52.1
	言語についての知識・理解・技能	65.9	61.3	57.7

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「司会者の話し合いの進め方の工夫」の正答率は63.9%であるが、県平均を6.7ポイント上回っている。 ●「話し手がどのような意見を言ったか」を問う問題の正答率は、県平均を2.1ポイント、市平均を4.1ポイント下回っている。	・30%以上の児童が正答できていない現状を考えると、引き続き話し合いの活動の仕方等を指導していく。 ・話の聞き方カードなどの話している内容を正確に聞き取る力をさらに付けていく。
書くこと	○「指定された長さで文章を書くこと」の正答率は84.3%と高く、県平均を18.0ポイント、市平均を24.8ポイント上回っている。 ○「2段落構成で文章を書くことができるか」を問う問題の正答率は、県平均を19.8ポイント、市平均を15.7ポイント上回っている。 ○「自分の意見を支える理由を適切な表現を用いて書くことができるか」を問う問題の正答率は、県平均を11ポイント、市平均を8.9ポイント上回っている。	・きまった量の文章を書くことに対する苦手意識はあまりもっていないことがうかがえ、自分の意見を支えるための理由を書く力は身に付いてきていると考えられる。引き続き指導をしていくことで、より効果的な表現を選んで理由を書くことができるようにしていく。
読むこと	○「場面の移り変わりを叙述を基にして読むことができるか」を問う問題は、県平均を6.5ポイント、市平均を3.1上回っている。 ●「与えられた情報から資料を適切に修正すること」についての問題は正答率が39.8%で、県平均を7.1ポイント、市平均を10.1ポイント下回っている。	・文章から映像をイメージする能力をこれから伸ばしていく。 ・今後、物語文や説明文などの文章を読んでいく際には、児童が言葉を理解してイメージができているかを確認したり、イメージすることが難しいと思われるものに関しては映像資料や写真等で補足したりしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「第4学年の配当漢字を書くこと」についての正答率は、県平均を27.5ポイント、市平均を21.2ポイント上回っている。 ○「慣用句の使い方を理解しているか」を問う問題の正答率は、県平均を9.9ポイント、市平均を7.1ポイント上回っている。 ●「修飾語を理解しているか」を問う問題の正答率は、県平均を2.3ポイント、市平均を3.6ポイント下回っている。	・漢字の書き全体の正答率は40.4%であることを考えると、引き続き漢字の反復練習を行い、基礎・基本の定着を図っていく。 ・一つの文がどのように構成されているのかを繰り返し確認していく。